作品作りを通して

ねらい：自分なりにイメージを膨らませながら製作することを楽しむ。

作成日：2024/1/23
対象児：5歳児かえで組
作成者：真鍋柚稀

◎振り返り◎

子ども達は作品展に向けて、毎日少しずつ作品作りをしています。学年の絵では、親子遠足で行った水族館の思い出を振り返りながら思い思いに海の生き物を描いていきました。初めは何の生き物を描けばいいのか思いつかない様子の子ども達でしたが、保育者と一緒に図鑑や画像を見て調べたり、絵本や子ども達が水族館で描いたスケッチや見ながら取り組めるよういつでも見れる場所に置いておいたりするようにしました。そうすることで子ども達の中でのイメージも少しずつ膨らみ、「あ！こんな生き物もおったよな！クラゲも描こう！」とどんどんアイデアが出てきていました。作品を作っていく中で細かく切る部分がある子もおり、「足のところ切れてしまいそう難しい…」と苦戦する姿もありましたが、周りりを大まかに切ってから細かい部分を切る方法を伝えると「ほんとや！これならめちゃ切りやすい！」と気づき最後まで一生懸命取り組むことができました。作品を仕上げていく中で子ども達とのイメージの共有や出来た喜びを共感することを大事にしながら、取り組みました。これからも子ども達のアイデアやひらめきを引き出せる環境作りを大事にしながら製作に取り組んでいきたいと思います。この他にも、素敵な作品がたくさんできているので、作品展ではぜひ楽しんでみていただければと思います。(思考力の芽生え、豊かな感性と表現)